

国指定天然記念物

しゃも ちゃぼ 軍鶏・矮鶏

所在地 千葉県内（地域を定めず指定）

昭和16年8月1日指定

大陸から渡ってきた天然記念物のニワトリ

「軍鶏」は江戸時代初期にシャム（現在のタイ）から輸入された闘鶏用のニワトリです。シャモの名は、このシャムに由来すると考えられています。

一般に、雄は上体が直立し、くちばしは厚くて太く、眼は大きくて鋭いのが特徴です。また、頸は長く、羽毛はまばらで赤い皮膚が露出しています。

闘争を好むことから「軍鶏」という字が当てられ、雄同士を一緒にすると、いずれかが死ぬまで戦い続けます。

「矮鶏」は江戸時代初期に中国から渡来した極めて小型の愛玩用のニワトリです。インドネシアのチャンボー（占城）がその原産地という説が有力です。

江戸時代中・後期には現在に近い体型が整えられたようです。眼や耳たぶは大きく、頸は短く後方に曲がっています。頸の羽根はとても豊かで、尾羽は特別に大きくよく開きます。

雄の成体重は約700グラム、雌は約600グラムと小さい体や短い脚などの可愛らしさから、世界的にも有名な鶏です。



軍鶏



矮鶏